



ブリティッシュ・  
カウンシルの  
講師に聞く

# IELTS テストのコツ

by Tony Clark & Peter Brereton

IELTSで最も難関だと言われるリーディング・セクション。本文の効率的な読み方から解答へのアプローチの仕方まで今すぐ役立てたい解答テクニックを紹介しよう。

## テスト本文の効率的な読み方

IELTS のアカデミック・モジュールのリーディング・セクションは、新聞や雑誌の記事から3つの文章が出題され、60分間で合計40の質問に答えます。おそらく、リーディングはIELTSのなかで最も難しいセクションだと言えるでしょう。急に高いバンド・スコアを取ることができるような魔法が存在するわけではありませんが、日ごろの学習の成果を最大限に生かせるような、効率のよい解答法があります。ここでは、それを紹介していきます。

みなさんは普段英語の文章をどのように読んでいますか。最初から一語一語追って、すべての文を理解しようとしてはいませんか？

IELTS のリーディングでは、「質問に答える」ことを目標に読み解きます。したがって、質問に関係のないところは、読み飛ばしてかまいません。大事なことがどこに書かれているかを見つけ、そこを集中的に読み込むのです。これはすでに、みなさんも日本語でやっていることです。

自分がいつも日本語の新聞や雑誌をどのように読んでいますかを思い出してください。知らない言葉が出てきたとき、気にせずに読み飛ばしているのではないのでしょうか。IELTS のリーディングでもそれと同じことをすればいいのです。

## 本文と質問、どちらを先に読む？

よく、「本文を先に読むのがいいか、質問を先に読むのがいいか」と聞かれますが、どちらがいいか決まっているわけではありません。どんなことが書かれているかを知るために、質問を読む前に本文にざっと目を通す (Skimming [スキミング] をする) 人もいれば、まず質問を読んで、その答えを見つけるために本文を読む人もいます。

文章を読む力が高い人は、Skimming をせずに本文を読み、すぐに答えを見つけることができるかもしれませんが、読解力にまだ自信がない場合は、まず Skimming をしてみましょう。どちらが自分に合っているか、問題集などを使って両方の方法を試してみるといいでしょう。

それでは、ざっと本文に目を通し要点をつかむ Skimming の方法を紹介します。

最初に、見出しや図表などを見て、本文のテーマが何であるか予測します。次に、最初の段落に目を通してみましょう。ここでは、本文全体の概要が書かれていることが多いので、まず

それを把握します。そして、Skimming のテクニックを使い、第2段落以降を読みます。

Skimming とは、文章の一言一句を読むことなく、大事なところだけに注目して、文章全体を把握するためのテクニックです。まず、段落の中の topic sentence (トピック・センテンス) に着目します。その段落に何が書かれているかを簡潔に告げる文で、多くは段落の冒頭に置かれています。それ以外はざっと読み、その段落に何が書かれているかを把握しましょう。スピーディーに読み進めることが大切ですので、すべての語句を読み理解したい、という誘惑には打ち勝たなければなりません。

Skimming によって各段落に何が書かれているかをおおまかに把握したら、次に、質問に目を通し、本文の中から何を見つけなければならないかを理解します。例えば、次のような質問があったとします。

'In what year did the Titanic sink?'  
(タイタニック号が沈んだのは何年でしょうか?)

この質問に解答するためには、本文の中から、年について書かれている部分を探します。これを、Scanning (スキヤニング) と言います。Scanning とは、あらかじめ探すべき内容を決め、文章に目を通しながら、目的とする語句を見つけ出す作業です。多くの場合、本文では「タイタニック号は〇年に沈んだ」とそのまま書かれているわけではありません。例えば、次のような説明になっていたりします。

"...the mighty vessel perished on the night of 14th April 1912."  
(……巨大な船が、1912年4月14日の夜に消滅した)

ここでは、mighty vessel (巨大な船) がTitanic を指していることに気づかなければなりません。単にTitanic という語や年を記している語を探す word-spotting (ワード・スポッティング) を行うと、大事な情報を見つけることができなったり、読み違えてしまったりする恐れがあるので、必ず前後の言葉にも注意するようにしましょう。

最後にそれが書かれている部分をじっくり読む Reading for detail というテクニックを活用します。読んで字のごとく、質問内容に該当すると思われる部分を注意深く読み解答する方法です。

## 質問パターン別の解答アプローチ

リーディング・セクションの質問にはいくつかのパターンがあり、それぞれのパターンにあったアプローチの仕方があります。いくつかの例をご紹介します。

- 1) 概要や図表の空欄を埋める  
→ 本文を Scanning
- 2) 各段落の見出しとしてふさわしいものを選択肢から選ぶ  
→ 本文の Skimming で要旨を把握し、さらに細部を読み込む
- 3) 与えられた文について、本文の内容と合っているかどうか、true (合っている) / false (間違っている) / not given (本文に書かれていない) のいずれかから選ぶ  
→ Scanning によって本文の中の該当箇所を探し、前後の語句を注意深く読む
- 4) 質問に対して短く答えを書く  
→ Scanning で本文の中の関連した箇所を探す
- 5) 選択肢の中から正しいものを選ぶ  
→ Scanning によって本文の中の該当箇所を探し、前後の語句を注意深く読む

最後に、解答を確実なものにするための、いくつかの心構えを記しておきます。

- 1つの問題に時間をかけすぎはいけません。わからなかったら次へ進み、最後に時間があたら見直しましょう。
- リーディング・セクションには、答えを英語で書くところがあります。スペルミス、単数・複数の区別などにも注意しましょう。
- リスニングでは聞きながらメモを取り、最後に解答用紙に答えを書くための時間が与えられますが、リーディングにはそれがありません。時間内に解答用紙を埋めることができるよう、時間配分に気をつけましょう。
- 問題集以外にもあらゆる英文を読み、語彙を増やし、早く読む練習をしましょう。

IELTS™



IELTS.  
The international  
license.

## IELTSという名の国際免許証

IELTS (International English Language Testing System、アイエルツ) は、英語圏への留学や、移住を志す人の英語能力を評価するために作られたテストです。信頼性、公平性の高さからイギリス、オーストラリア、アメリカ、カナダを始め世界135カ国で約8,000の機関が、IELTSを受け入れ基準として認めています。2012年の全世界合計の受験者数は200万人に達し、英語能力試験のグローバルリーダーの役割を果たしています。

日本では、東京、横浜、名古屋、京都、大阪、神戸、広島、岡山、福岡、札幌、仙台、金沢、埼玉、松本、高知で受験することができます。

お問合せ・受験申し込みは、  
公益財団法人 日本英語検定協会 IELTS 事務局まで  
[www.eiken.or.jp/ielts](http://www.eiken.or.jp/ielts)

## IELTSとは…

16歳以上を対象にしたテストで、英語で授業を行う大学や大学院に入学できるレベルに達しているかどうかを評価するアカデミック・モジュールと、英語圏で学業以外の研修を考えている方向けのジェネラル・トレーニング・モジュールの2種類があります。いずれも、リスニング、リーディング、ライティング、スピーキングの4つのテストで構成されています。



ブリティッシュ・カウンシルでは、IELTS試験対策コースを開講中!!  
[www.britishcouncil.or.jp](http://www.britishcouncil.or.jp)

f 勉強法や留学した人の体験談がわかる  
<http://www.facebook.com/IELTS.BritishCouncilJapan>

英検 公益財団法人 日本英語検定協会

BRITISH COUNCIL

公益財団法人 日本英語検定協会は、ブリティッシュ・カウンシルと日本でのIELTSを共同運営しています